歩みの風

明石市立錦城中学校
第73回生　学年通信
第８８号
平成30（2018）年
7月5日（木）

7月2日は『半夏生』はんげしょうでした。

6月21日が夏至。1年で一番太陽が出てる時間が長い日でした。この日から数えて11日目を『半夏生』（はんげしょう）といいます。昔はこの日までに田植えを終えることをにしたそうです。ですので、この日は農作業は小休止だったのかな?

この時期に、タコの八本の足のようにしっかりと稲が根を張って欲しい。タコの吸盤のように、ビッシリと稲が実って欲しい。との願いをこめて、神様にタコをささげる習慣が生まれたそうです。タコはタウリンを多く含み、夏バテ防止にもいいそうで、神様に捧げるだけでなく、人々もこの時期にタコを食べるようになったそうです。

明石はマダコの漁獲量日本一。給食に出ましたね。しっかり食べましたか?

薬物乱用防止講演を聞いて

6月26日（火）兵庫少年サポートセンターの方に来ていただいて、薬物について、お話をいただきました。我々が知らないだけで、けっこう身近なところで、こうした問題が起こっていることに、みなさんも驚いたのではないでしょうか?

感想を紹介させていただきます。

どうしても自分とは遠い世界と思ってしまうけど、関係ないことではないことにまた気づかされました。私や私の友達がそんな事件に巻き込まれないように気をつけます。

薬物は自分に関係ないと思っていたけれど、断る立場に立ったとき、「嫌です」と言えるかなと考えました。思っていても言えなかったら意味がないので、しっかり日頃から考えようと思いました。

思ったことは、まず乱用について、一度使っただけで、乱用扱いになると聞き、中学生は大事な成長期に妨げになるような薬物は絶対いけないことだなと思いました。一度薬物を使ってしまうと、自分の意志に関係なく、やめることは難しい。今回の話を聞いて、一人一人が認識することが大事だと思った。

私は、薬物乱用など自分には関係がないと思っていました。しかし、講演会で中学生の薬物乱用や高校生の薬物乱用があって、ビックリしました。薬物は一度乱用してしまうと依存症になってしまったり、後がなくなってしまうから、絶対にしないと改めて思いました。

薬物の危険性などがよくわかりました。今回のことをこれからの生活に生かせたらと思います。

昨年もお話を聞いていましたが、忘れていた部分などもあり、改めて薬物の怖さを感じました。絶対に薬物に手を出さず、出そうとしている人がいれば、勇気を持って止めたいと思います。

薬物乱用防止講演を聞いて、危険ドラッグやタバコなどをすすめられても、しっかり断れるようにしていきたいです。

今回の薬物乱用防止講演は薬物のことだけでなく、犯罪にまきこまれることも聞けたので、とてもためになりました。改めて薬物は恐い物だと分かったし、自分は強い意志を持てるようにしたいです。

今日の話を聞いて薬物は絶対にしてはいけないと思いました。理由は乱用したら大変な事になるからです。

去年と同じことをたくさん言っていたので、それだけ薬物乱用はしてはいけないんだなと改めて思いました。先輩や友達に誘われたときの対処法も教えてもらったので、もしそんなことがあったら、今日のことを思い出して生かそうと思いました。

私は今回の話を聞いて一生したくないなと思います。薬物を乱用すると「日常生活に戻れなくなる」という言葉が一番印象に残りました。薬物は自分を苦しめるだけだし、すごく恐いことが分かりました。もし、誘われても断れるようにしっかり考えてから発言するように意識しようと思いました。

昨年と今年とでは、内容が全くちがっていて、わかりやすくなっていました。夜に出歩いて殺されている事件を初めて知って、外を歩く時は気をつけて意識しないといけないと思いました。

薬物乱用は本当に恐いことだと改めて知りました。これからも絶対にしないように、意識しようと思いました。

やっぱりドラッグは恐ろしいものだと知った。少し刺激が強い画像などもあり、気分を害する場所もあり、少し疲れた。

薬物乱用防止について思ったことは危険ドラッグはその名の通り危険なんだなーと思いました。その中で特にびっくりしたことは、危険ドラッグには、いろんな薬物が入っていることです。だから、お医者さんにも治せないかもしれないから、とてもこわいなと思いました。

昨年もありましたが、今年は昨年とはまた違う、パワフルな講演会でした。初めて知ることもあって、恐ろしいと思いました。また、自分にも危険性があると改めて感じました。そういう所も気をつけていきたいと思います。

『薬物』に手を出すのは大人ばっかりだと思っていました。でも、そうじゃなくて自分達に近い年の人とかも『薬物』をやっていて、自分もしっかり断れるようにしたいと思いました。